

## 前期「授業評価アンケート」を終えて

*The mediocre teacher tells. The good teacher explains. The superior teacher demonstrates.  
The great teacher inspires.* William Arthur Ward

並の教師はただ喋る。良い教師は説明する。すぐれた教師はやってみせる。

偉大な教師は心に火をつける。 ウィリアム・アーサー・ウォード

### 10月中旬から集計結果を返却

法政大学は、7月に初めて全学規模で「学生による授業評価アンケート」を実施しました。全学で延べ3,123クラス、125,028名の学生から回答がありました。アンケート実施にご協力いただいた教職員の方々、学生の皆さんにあらためて謝意を表します。

アンケート結果は、クラスごとに項目を集計し、自由記述とあわせて、10月中旬より担当教員に返却されます。

### 教員と学生の認識のずれ

アンケート結果は、教員の「成績表」ではありません。今回のアンケートは、受講生の率直な感想や意見を知り、授業改善に役立てていくためのものです。

教員は、自分の授業について「プロ」としての認識を持っています。しかし、他大学の先行例でも見られるように、教員の認識と学生の認識とは必ずしも一致しません。教員が周到に準備し、熱意を持って授業を行なっても、学生には「難解」「単調」「一方通行」と受け取られる場合があります。つまり、両者の間には、多くの場合、意図しない「不幸なずれ」が存在しています。この認識のずれに気づくのも、アンケートの主たる目的の一つです。

### 学生はナマケモノ？

「授業にまともに出席していない学生の

意見は無責任」とか「きちんと勉強していない学生が、なぜ評価できる？」といった教員の声がよく聞かれます。

たしかに、意欲的に取り組んでいる学生とそうでない学生の意見は、区別して取り扱う必要があります。しかし、どの授業でも意欲的な学生ばかりが集まっているわけではありません。自分の関心がなくても進級や卒業のために履修するというのは、学生側の現実です。あまり関心のない学生にも教科の魅力伝えるのは、教員の使命と言っても過言ではありません。逆に、積極的な学生の勉学意欲まで削いでしまっているとしたら、教え方について一度考えてみる必要があるのです。

### 自由記述は学生のナマの声

集計結果には、授業の満足度など数値化したものと自由記述があります。授業改善に結びつくのは、数値よりもむしろ自由記述の部分です。これこそ学生の生の声で、授業をより良くするためのヒントが隠されています。

### 小さな教員グループが大きな力に

授業改善への有効な方策に、同じ科目の教員が集まり、「授業で困っていること」や「授業の工夫」について、ざっくばらんに話すというのがあります。また、実際に他人の授業を見ることも参考になります。こうした集まりを定期的に行なうことで、教員の意識が変わり、授業への効果が期待されます。

## 「FD = 授業アンケート」ではない

FDとは、授業内容・方法を改善、向上させるために大学が組織的に取り組むことを指します。したがって、「授業アンケート」だけがFD活動ではありません。国内の大学で行なわれているFD活動には次のようなものがあります。

### 多面的な評価方法

- 学生による授業アンケート
- 教員同士による評価
- 外部機関による評価
- 教育を業績ととらえる

### 授業見学・公開授業

- 教員同士による意見交換
- 教員同士による評価
- 優れた授業の見学
- 模擬授業

### FD支援体制

- 事務組織
- 教員組織
- FDセンターの設置
- 学生への教育支援

### 教員研修

- 講演会・ワークショップ等の開催
- FD合宿
- 教員同士による意見交換
- 新任教員の研修

### FDの成果

- FD研究紀要や本の刊行
- カリキュラムの再検討
- 学部等の教育理念・教育目標の再確認

## 第2回・第3回法政大学FDセミナーのお知らせ（教員はどなたでも参加できます）

### 第2回 「ゴーイングシラバス - 授業デザインのステップ」

11月6日（土） 13:30～15:30

法政大学市ヶ谷キャンパス 九段校舎3階 遠隔講義室2（定員 約80名）

講師： 鳥居朋子 氏（名古屋大学高等教育研究センター講師）

名古屋大学と河合塾が共同で開発したシラバスのコースウェアを使って、授業を成功に導くシラバス作成のノウハウを学び、ディスカッションを行ないます。

### 第3回 「教員研修としての授業見学 - 外国語授業の質的向上をめざして - 」

11月27日（土） 14:00～16:00

法政大学市ヶ谷キャンパス 58年館2階 キャリア情報ルーム（定員 約50名）

講師： 森田昌美 氏（流通科学大学非常勤講師）

授業見学を行なった教員と受け入れた教員が、どのように授業改善に結びつけていく可能性があるのかを参加者の先生方と考えていきます。ビデオ収録した授業と教員へのインタビューを例に、授業見学の実効性と可能性について検討します。

セミナーお問合せ： 法政大学学務部学務課 03(3264)9929~9931 kyogaku@hosei.ac.jp